

総合交通体系調査特別委員会レポート

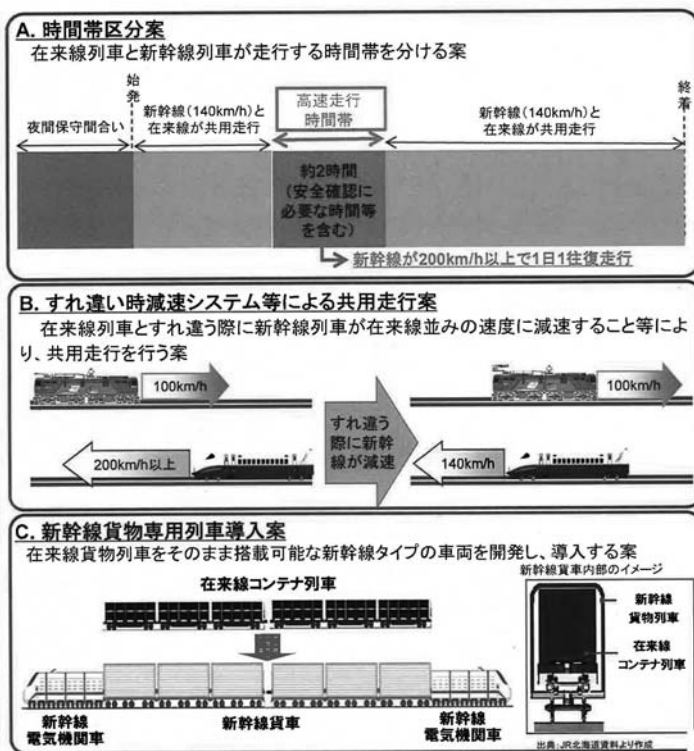
青函共用走行問題 **トレイン・オン・トレイン** 実現に向けて 道議会（新幹線・総合交通体系対策特別委員会）との **懇談会** を実施

当委員会では、在来線列車と新幹線列車の青函共用走行問題については、当町の最重要課題であることから、この度、7月8日に道議会新幹線・総合交通体系対策特別委員会正・副委員長と懇談会を実施し、道より現状の報告を受け、当町の切迫した思いを述べ懇談しました。

国土交通省の案としては、「時間帯区分案」・「在来貨物共用走行案」・「新幹線貨物専用列車導入案（トレイン・オン・トレイン）」の3案について検討しており、当面は、「時間帯区分案」により、平成30年に、1日1往復の高速走行の実現を目指しています。

また、並行して、「すれ違い時減速システム等による共用走行案」・「新幹線貨物専用列車導入案」の技術的実現可能性などを調査・研

究し、開発の見通しを得るとしてまいります。今後は青森県側との懇談会も予定しており、その他の調査事項も含め、あらゆる交通体系の調査、研究を、行政とともに進めてまいります。



道議会新幹線・総合交通体系対策特別委員会との懇談会

用語解説

●総務・経済常任委員会

本会議から付託された議案や陳情等を調査したり、広範多岐にわたる町の事務を専門的かつ能率的に調査し、各種意見を調整してその経過と結果を本会議に報告します。

●総合交通体系調査特別委員会

並行在来線、高規格道路函館・江差自動車道など、あらゆる交通体系に関する調査、研究を実施するための特別委員会です。

●トレイン・オン・トレイン

新幹線タイプの貨物列車、在来線貨物列車をそのまま搭載する高速輸送システムです。